



児童の見守り活動が 地域全体の安心・安全につながる



七小地域見守り会

▲七小地域見守り会 集合写真

平成25年、七小の通学路に不審者が出没したことを受け、下谷保町内会で始まったパトロールが活動のきっかけでした。当時民生委員の方からのお声がけで、各自治会に協力を呼びかけ、地域の有志の方々が加わり、「七小地域見守り会」が発足しました。見守り活動から広がる児童との信頼関係、地域のつながりは、「地域全体の安心・安全につながる」そんな思いをもって現在も活動を続けています。

七小地域見守り会(以下、「見守り会」)
が発足した経緯を教えてください

平成25年、市立国立第七小学校(以下、七小)の通学路に不審者が出没し、児童が怖い思いをしたとの情報が出た。下谷保町内会に入り、町内会の防犯交通部2名と、当時町内会長をしていた私の3名で、3か月間毎朝不審者情報のあった通学路近辺をパトロールしていました。

その当時、民生委員で個人的に見守り活動をされていた現見守り会事務局長から町内会に、「七小児童の見守りに協力をしてもらえないか」とお話をいただき、町内会の役員会に諮ったところ、協力の賛同を得ました。そして町内会で、見守り会発足に約20名の参加をいただきました。その後、七小学区内の各自治会長へ協力を呼びかけたところ、それぞれの地域の有志の方々が加わり、平成26年4月、現在の七小地域見守り会が発足しました。

活動内容について教えてください

見守り会は約65名の登録があり、児童の通学時間の7時半から8時20分くらいまで、常時40〜45名で活動しています。毎朝通学路の各所に立つて見守り、児童に積極的に挨拶をしてコミュニケーションをとっています。

4月には1年生の下校訓練があり、1週間、先生と見守り会が付き添い、さらにもう1週間見守り会が付き添

つて下校訓練をいたします。

下校訓練では、踏切、交差点、曲がり角、歩道橋の降りた場所では必ず一時停止をして、左右を確認することを大切にしています。

その他には、年に1〜2回七小で意見交換会を実施しています。意見交換会では校長先生をはじめ、数名の先生方、見守り会、PTAの保護者、各自治会・町内会の会長、国立市教育委員会、立川警察署の方々にご参加いただき、通学路の問題点、児童の通学時の行動、挨拶、児童の保護者への要望等、より良い通学環境に向けて、いろいろな意見交換をし、参加する方々とのコミュニケーションをとっています。

活動を継続されるにあたって工夫されたことを教えてください

見守り活動はあくまでボランティアです。見守り活動ができる方ができるときに、通学路に立つて児童を見守っております。欠員が出た場合は、その地域の知り合いにお声がけをして、見守り活動に協力していただけるようしています。

活動を通して印象に残っていることを教えてください

現在、こうした見守り活動により、抑止効果が表れ、不審者の出没が減少したように感じています。それと同時に、大人の目が周囲にたくさんあることで、地域の防犯効果もある

ように感じています。見守りをしていらっしゃる方々の話を聞いてみると、朝見守りに立つことにより、1日の始まりのリズムができ、そして子どもたちと挨拶を交わすことで元気をもらっていると言っておられました。また、校長先生のお話では、子どもたちが自分から挨拶ができるようになってきていると聞いています。これも毎朝、子どもたちに挨拶を続けてきた成果かとも思っています。

今後の見守り会の活動及び展望などありましたら教えてください

活動を通して、見守り会と児童との信頼関係が構築され、積極的な声掛けができるようになりました。さらに七小の先生方と地域の方々とコミュニケーションが図られるようになり、学校、家庭そして地域の協力により、より良い児童の教育にもなっているのではないかと感じています。国立市の各小学校の児童たちが、安心して安全に登下校できるよう市内それぞれの地域に、見守り会ができれば良いと思っています。



▲見守り活動の様子